学生が語る、「理容は最先端で魅力がいっぱい！」

理容科入学者が一気に3倍へ、その取り組みを探る

ヘアラルト阪神理容美容専門学校（兵庫・尼崎市）

ここ数年、理容師を目指す若年者の減少が業界の大きな問題点となっている中、ヘアラルト阪神理容美容専門学校（半田まゆみ理事長、半田一朗校長）では今年、理容科の生徒数が一気に昨年に比べ3倍の15人（うち女性5人）へと増加した。理容科を廃止する学校もある中、快挙と言っても過言ではないだろう。そこで、今号では同校に入学した理容科の学生5人に参集してもらい理容師になろうと考えたきっかけやヘアラルト阪神理容美容専門学校を選んだ理由、また将来どんな理容師になりたいのかなどを楽しく語ってもらった。更に同校の教職員2人にも生徒募集に際しての尽力や取り組みなどを伺った。

座談会参加メンバー

ヘアラルト阪神理容美容専門学校理容科1年生（順不同）

中嶋　佑介さん
北郷　愛さん
平　伊久美さん
金澤　奈美さん
森津　茂樹さん

「日本一の理容師になって業界のイメージを変えてみせます」と語る中嶋佑介さん

「理容師になっていろいろな所で理容をアピールします」と語る北郷愛さん

理容師を目指そうと思ったきっかけは？

――ではまず、皆さん「理容師」を目指そうと思ったきっかけは何ですか？

中嶋　小さな頃から髪を触るのが好きだったんです。美容の仕事にも興味がありましたが、理容師の方が将来的にも長く仕事ができると思ったからです。生意気に役って感じです（笑）。僕の兄も同じヘアラルト阪神理容美容専門学校の理容科を卒業しました。

北郷　私は女性の理容師さんが少ないのでやってみたいなと思って理容師を選びました。実は最初は美容師を目指していたんですが、通っているサロンの美容師さんから「理容師の方がお給料がいいよ」って聞いたので（笑）。あと祖父が理容師をしているので、いろいろ教えてもらいました。

平　私は高校生の時に理容室でバイトをしていたんです。それでシェービングを見ていて「女性でシェービングをする人（理容師）って少ないなあ」って感じ、どうせなら活かしたいって思いました。私も最初は美容師志望でした。エステにも興味があったんですが、理容でもエステティシャンの資格が取得できると聞いたので、それなら理容師になろうと決意しました。

金澤　私の母がエステティシャンなんですが、理容学校を出ていないので、レディスシェービングができません。だから私が理容師になって「資格を取って一緒に仕事をしよう」って母から言われたので理容師になろうと思いました。

森津　僕は実家が地方なので、周囲に理容室が多いんです。それで、いつかは地元に戻ってサロンに勤めたいと思ったので、理容師になろうと考えました。最初はあまり理容師には興味がなかったんですが、髪を切ってヘアスタイルを変えただけで人の性格まで明るくできることを身を持って体験することがあったんです。実は僕は高校を卒業後、理容とは全く関係のない会社に一度就職をしたんですが、やっぱり人が喜んでくれる仕事がしたいと思い、ヘアラルトへ入学しました。

「エステティシャンの資格が取得できると聞いて決意しました」と語る平伊久美さん

ヘアラルトを選んだ理由って何ですか？

――数ある理容学校の中でヘアラルト阪神理容美容専門学校を選んだ理由は？

中嶋　先ほども言いましたが兄が通っていまして、とても楽しそうだったので、一緒の学校にしようと思いました。兄が入学してから大人っぽい、カッコいいことを話すようになったんです（笑）。それがとてもカッコ良かったので自分もそうなれるように頑張ります。

北郷　オープンキャンパスに来たとき、他の学校よりヘアラルトの学生さんは楽しそうだったんです。笑顔も作り笑顔ではない自然な笑い顔（笑）。何校か学校を回ったんですが、ヘアラルトが一番だと直感で思いました。だからオープンキャンパスも3回来ました。

平　私もヘアラルトのオープンキャンパスに来たとき生徒さんと先生の壁がなくて本当に自然ですごいいなと思いました。私は4校ほどオープンキャンパスへ行きましたが、ヘアラルトには3回も来ました。

金澤　私はヘアラルトと他の専門学校2校のオープンキャンパスに行きました。もう一つの学校もネイルコースがあったりしてとても魅力的だったんですが、ヘアラルトは生徒さんも学校に来ていて、少し分からない顔をしていると とても丁寧に教えてくださいました。それでこの学校に入ったら頑張れそうな気がしたので、結局1回しかオープンキャンパスには来なかったんですがヘアラルトに決めました。

森津　僕は今まで学校に関しては少人数制の学校に通っていたので、あまり多人数で勉強する機会がなかったんです。自分には少人数制の方が合っていると思ったのが理由の一つです。実は2年間考えてヘアラルトに決めたんですが、1年目は理容師として長い間ずっとやっていけるのかという不安があり悩んでいたんです。それで翌年もまたヘアラルトのオープンキャンパスに来たときに、1年遅れで入学した僕と同期の学生さんがいたんです。その子とメールをしていろいろ相談している中で「ヘアラルトはこういう学校だから森津くんに合っているよ。だから入学してもきっと大丈夫だよ」と言ってもらって決意が固まり受験しました。

「理容師」についてのイメージって？

――「理容師」についてのイメージってどんなイメージを持っていました？

中嶋　僕は小学生の頃は理容室に行ってたんですが、途中からは兄にカットしてもらっていました。その頃に通っていた理容室はおっちゃんが多かったですね。「理容」といわれたらやっぱり“おっちゃん”という イメージが強いです。でもこの学校に入学してからはそのイメージは変わってきました。

北郷　私もやっぱりおっちゃん…（笑）。それに周囲に入ったら新聞を読んでいて「いらっしゃいませ！」みたいな感じ（笑）。理容室にはお父さんについて行ったことがあるだけ…。小学生でしたが自分の髪を切ってもらうのはちょっと…（笑）。今は授業で学んでいても「美容」と変わりはないと思いました。おっちゃんがやっているからそういうイメージがあったんですが…、そのイメージを私が変えてみせます！

平　今は逆に“最先端”というイメージ。昔は私もおじさんというイメージでした（笑）。高校生のときにバイトをしてから「違うかもしれない」って思い始めました。

金澤　皆と一緒でおっちゃんしか通わないようなイメージしかない。私も理容室に行ったことが全くなく、美容室に通っています。

森津　小学生まではずっと理容室に通っていましたが、やっぱり“固い”っていうイメージが強かったです。皆が言うように「おっちゃん」が多かったり、BGMも演歌だったり…（苦笑）。音楽すら流れていない店も…。でも理容室の良いところは帰りにガムやアメがもらえたこと（笑）。今、授業のデモンストレーションで先輩理容師の技術を見ていますが、今風に言えば「テクい」という感じ（笑）、美容師っぽいこともできるんだと思いました。本当に驚きました。今は“最先端”というイメージです。

「母から理容師になって一緒に働こうって言われています」と語る金澤奈美さん

「人が喜んでくれる仕事がしたくて理容師を目指しました」と語る森津茂樹さん

（2面へ続く）

理美・学校

◀半田まゆみ理事長（前列右から2人目）と学生たち（手に持っているのが本文中に出てくる半田理事長の「発想論」の授業での課題。各自が自由な発想で作品を創作しているのが分かる）

1面から続く

どうしたらもっと若い人が理容師を目指す？

――ではどうしたらもっと若い人が理容師を目指すと思いますか？

中嶋　僕が日本一の理容師になって業界のイメージを変えてみせます！

北郷　ヘアラルトに来ればもっと若い理容師が増えると思います。そして私が理容師になったときには、いろいろな所で理容師って職業をアピールします。

平　もっとおしゃれな理容室が増えたら絶対に変わってくると思います。

金澤　ヘアラルトのオープンキャンパスに来てくれた高校生たちへ理容の素晴らしさを伝えていけばいいと思います。

森津　今度、学園祭でヘアショーをするんですが、理容の固いイメージが取れるようにしたいって考えています。そして見学に来た高校生に「理容でもこんなかっこいいヘアスタイルやファッション、メイクができるんだ」って思ってもらえるようにアピールしたいです。またそれを次の年代、次の年代の人たちへとつなげていきたいと思います。

とくに面白いっていう授業はありますか？

――それでは皆さん、授業が始まって半年が経ちましたが、とくに面白いっていう授業はありますか？

中嶋　いろいろ活動的で授業は楽しいです。でも一番好きな授業は半田まゆみ理事長の「発想論」です。考えていることなどを人生で友達に会うために学校へ通っているという感じ。本当にヘアラルトは授業を含めて全部が楽しいので、休日がいらないくらいです！

平　自分のためにもなるので私はエステティックとアロマテラピーの授業が好きです。肌のことなので普段こうしてみようとか役立てることができるのも嬉しい。本当に学校はすごく楽しいです。

金澤　私も発想論や実習が好きです。授業では今、刈り上げを学んでいますが、それもとても楽しくしています。

森津　勉強はどの授業も最後の国家試験につながっていると思えば頑張れます。あと、どの先生方も高校の時の先生と比べて授業の仕方が全然違って上手いなぁ～って思います。高校の時は授業を聞いていない生徒がいても気にせず進めていく。でもヘアラルトの先生方は要点、要点をきちっと教えてくださいますし、とにかく楽しい。僕もアロマテラピーの授業が好きです。

将来はどんな理容師になりたいですか？

――では最後に将来はどんな理容師になりたいですか？

中嶋　お客様の要望に何でも応えられる理容師になりたい。そして独立しておしゃれなサロンをつくりたいって思います。

北郷　信頼される理容師っていうのはもちろんですが、私の姿を見てお客様が「私も理容師になりたい」って思ってもらえたら嬉しいですね。私も自分のサロンを持ちたい。女性が入りやすいおしゃれな感じで、理容の固いイメージを払拭したいです。

平　お客様が次に来店したときも私にカットしてもらいたいって思ってもらえる理容師になりたいです。将来、サロンをオープンすることができたら「ここは新しい雰囲気の店だな」と感じてもらえるサロンをつくりたいです。

金澤　理容師でも美容師と変わらないセンスのある技術力を持って、お客様に理容室でも今風のヘアスタイルができるんだと思ってもらいたい。そして若い人にたくさん通ってもらえるサロンにしたいです。メニューもハンドマッサージなどトータルで提案できるサロンにしたいです。

森津　「まだこの人にカットしてもらいたい」と思ってもらえるような理容師になりたいです。そして僕は店を持ちたいというより、ハサミ一本でいろいろな場所を回りたいって思っています。これからより高齢化社会になっていくと思いますので、お年寄りの方も自宅でカットやシェービングをしてもらえたら嬉しいし、喜んでもらえると思うんです。それが僕の夢ですが、今は何をやるにもこのヘアラルトの中で一番になりたいって思います。

教職員に聞く

学生集めに尽力した理容科２年担任の田海雅敬さんと入学相談室の絹川俊行さんにも話を聞いた。

田海さん　「心がけているのは、高校生とのコミュニケーション」

高校生たちへ理容の魅力を伝えていく

――今年理容科の生徒数が増えましたが、どんな取り組みをされましたか？

田海　本校では入学相談室というのがあるんですが、その職員たちが高校にガイダンスに行った際に理容のことをアピールしてくれたということが大きいですね。あとはオープンキャンパスに高校生たちが来てくれたときに在校生の生徒たちが「理容科って素晴らしいよ」って語ってくれたことがそれぞれの高校生の胸に一番響いたのではないでしょうか。恐らく当初は美容科を志望していた人でも、いろいろ話を聞くうちに理容科にしてみようかなと思った高校生がいると思います。

絹川　私は直接、理容師や美容師になりたいという高校生の方たちと話をしたりしました。その中でまず理容師と美容師の違いを分かっていない高校生が多いんですね。そういう人たちには、私も理容師の免許を持っていますので理容師の良い面や仕事のことを伝えて理容師という職業についてより分かって頂く、納得してもらうということを行いました。

生徒募集について思いを語る田海さんと絹川さん

そこからオープンキャンパスなどで実際に学校に来てもらえれば、学校の魅力を伝えていって少しでも興味を持ってくれたらあとは在学生との交流によって入学してくれているんだと思います。ですから私たちは理容の魅力を伝えているだけ。本当に在校生の力が大きいと思います。

絹川さん　「高校生に理容師という職業を分かって頂く、納得してもらう」

ウイッグを使ってシェービングを体験

――では、オープンキャンパスで心がけていることってありますか？

田海　心がけているのは、高校生とじっかりコミュニケーションを取るということですね。技術や実習で一番触れ合うことができますので、そこで技術を楽しんでもらう。それで雰囲気や面白さは伝わるのかなと感じています。

具体的に理容科のブースではヒゲが生えているウイッグを使ってシェービングを体験してもらったりします。理容と美容で一番大きく違うのはシェービングだと思いますからね。

絹川　やっぱり理容科の学生たちも少入数よりは大勢の方が楽しいでしょう。理容科の学生が増えた一番は興味を持ってくれたことだと思います。理容師という仕事は私も経験したからいえることですが、素晴らしい職業だと思います。ヘアラルトに入学してもらって将来有望な理容師になってもらえれば嬉しいですね。今はおしゃれな理容室も増えてきているのでこれからは理容師になりたいという若い方が増えてくると思っています。

◆　◆

ヘアラルト阪神理容美容専門学校では現在、オープンキャンパスを開催しており、多くの高校生らへ学校の魅力を伝えている。また、通信課程の生徒も募集中だ。

キャリアアップの就職相談にも親身になって乗っており、「理容師・美容師に関することならどんなことでも気軽にご相談に応じます」と述べている。

▼問合せ先＝ヘアラルト阪神理容美容専門学校、TEL06・6412・1651

▼URL＝http://www.ac.jp